

熊本大学広報誌

熊大通信

vol.

45

2012 SUMMER

特集Ⅰ

金属材料の歴史を今、塗り替える。

KUMADAI

不燃マグネシウム合金

特集Ⅱ

小・中学生、高校生、集まれ!

熊大で学ぼう!



国立大学法人
熊本大学

Kumamoto University



CAMPUS SCENES キャンパスの風景

SHOP&BAKERY ^{フォルニコ}FORICO

黒髪南キャンパスの「FORICO」は学生や教職員の暮らしをサポートする福利厚生施設。

愛称は学生たちの公募と投票で決定。ベーカリーも併設されたショップの他、食堂は、A～Fまで六つのフロアがあり、パーティ会場としても利用できる。学生や教職員のキャンパスライフの充実を支える居心地の良い空間だ。



熊大通信 45

2012 SUMMER

vol.

熊本大学広報誌 熊大通信

*皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

- 【発行】 国立大学法人熊本大学
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1
Tel.096-342-3119
Fax.096-342-3007
sos-koho@jimu.kumamoto-u.ac.jp
- 【編集】 熊大通信編集委員会
田中 智之／委員長・大学院自然科学研究科
大辻 正晴／文学部
黨 武彦／教育学部
朝田 康禎／法学部
中田 晴彦／大学院自然科学研究科
永田 千鶴／大学院生命科学研究部
首藤 剛／大学院生命科学研究部
田中 尚人／政策創造研究教育センター
西村 兆司／マーケティング推進部広報戦略ユニット
- 【制作】 株式会社カラースプランニング

CONTENTS

- 03 特集Ⅰ 金属材料の歴史を今、塗り替える。
KUMADAI 不燃マグネシウム合金
- 11 研究室探訪 発達障がいの研究を通じ、
実践力を備えた教育者を育てる
教育学部 特別支援教育学科 菊池哲平研究室
- 13 特集Ⅱ 小・中学生、高校生、集まれ！
熊大で学ぼう！
- 15 国際交流 インタビュー
熊本大学から世界へ 船場智代さん
世界から熊本大学へ フン・テイ・グエトさん
- 17 卒業生ジャーナル
- 19 KUMADAI TOPICS
- 22 熊本大学基金よりお知らせ

表紙／本学に設置された成形・加工実験棟にて、
「熊本大学先進マグネシウム国際研究センター」河村能人センター長と合金設計分野の皆さん

熊大発!世界へ vol.1

特集 I

金属材料の歴史を今、塗り替える。

KUMADAI 不燃マグネシウム合金

実用金属の中で最も軽いマグネシウムは、強度や発火性に弱点があり、世界各国が研究開発にしのぎを削っている。その壁を打ち破る「KUMADAI 不燃マグネシウム合金」が、熊本大学で誕生! “熊大”の名を冠する次世代の超合金は不燃性でありながら従来の航空機の金属材料「超ジュラルミン」を凌駕(りようが)する軽さと強度を持ち、その実用化に向け、航空機や自動車メーカーをはじめ、“世界”が動き出している。航空機などへ実用化されると、軽量化により燃費が向上し、二酸化炭素排出量を低減できる。「KUMADAI 不燃マグネシウム合金」は、環境に優しい次世代の金属材料なのだ。

今号では、「KUMADAI 不燃マグネシウム合金」の開発者である熊本大学先進マグネシウム国際研究センター・河村能人センター長の内に秘めた研究者としての思いや開発までの歩みの特集。政治学を専門分野とする上野眞也熊本大学学長特別補佐(熊本大学政策創造研究教育センター教授)の異分野からの目線で斬る異色対談からお届けしましょう。

450種類の元素の
組み合わせと配合比徹底研究
試行錯誤の果ての、夢の超合金

上野 「KUMADAI 耐熱マグネシウム合金」、そしてそれに続く「KUMADAI 不燃マグネシウム合金」が、世界的な注目を集めていますね。開発されるまでのプロセスを簡単に教えてください。

河村 私は、東北大学で「アモルファス合金」の研究をやっていたんですが、1999年にマグネシウム研究のプロジェクトメンバーに指名されたことをきっかけにこの研究を始めました。マグネシウムは私にとって未知の分野でしたが、斬新な視点で研究に取り組んでほしいとのことで、専門外の私に白羽の矢が立ったようです。当時、日本のマグネシウム研究は欧米に比べて10年ほど遅れているような状態で、しかもマグネシウムの合金開発はほとんどやり尽くされていて、調べれば調べるほど、私が研究する余地はありませんでした。正直、辞めたかったんですが、引き受けたからには最善を尽くすというのが私の信条。開き直って、マグネシウムにいろいろな元素を1アトミックパーセント(*1)ずつ増やしながらから配合していくという基本的な実験から始めました。当時、「そんなことをやっても、無駄」と言われることもしばしばありました。しかし、私にとってはとにかくマグネシウムと、

*1 アトミックパーセント…原子100個の中に考えている原子が1個の割合。1at%



Yoshihito Kawamura

河村 能人

熊本大学先進マグネシウム国際研究センター長
大学院自然科学研究科教授

Profile

石川県出身。名古屋大学工学部卒業、同大学院工学研究科修士課程修了。東北大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。日本電装(株)(現・(株)デンソー)で「アモルファス合金」を研究。その世界的権威である東北大学・増本健教授の下で研さんを積み、2000年熊本大学工学部へ、2012年、熊本大学先進マグネシウム国際研究センター長に就任。現在に至る。



Shinya Ueno

上野 真也

熊本大学学長特別補佐
熊本大学政策創造研究教育センター教授
大学院社会文化科学研究科教授

Profile

熊本県出身。熊本大学法文学部法学科卒業、九州大学大学院法学研究科後期博士課程修了。(株)太陽神戸銀行勤務を経て、熊本県庁入庁。2001年熊本大学生涯学習教育研究センター(現、政策創造研究教育センター)へ。地方自治体の経営や施策形成能力の向上に関する研究など、その研究は多岐にわたる。地域のシンクタンクとして活躍する同センターをけん引するリーダーである。

他の元素との相性を自分自身で実感したいという一心だったんです。マグネシウムと相性がいい元素を幾つか見つけ、今度はその相性がいい元素を2種類配合していきまし
た。約450種類の元素の組み合わせと配
合比を調べた辺りで、「KUMADAI耐熱
マグネシウム合金」が生まれました。さらに、
今年4月には、発火しやすいというマグネシ
ウム合金の弱点を克服し、より高温でも発
火しない「KUMADAI不燃マグネシウム
合金」の開発に成功しました。

上野 昔、エンジンも白熱球のフィラメントの
材料に適している京都の竹を探し出すまで、
何度も実験を試みたといわれています。研
究開発は、素材の組み合わせや添加する量
など、実に細やかで気が遠くなるような試
行錯誤によって支えられているんですね。
「KUMADAI耐熱マグネシウム合金」の
構造には、特異なメカニズムが見られるそ
うですが…。

河村 はい。「KUMADAI耐熱マグネシ
ウム合金」は、長周期積層構造(10ページ参
照)を持っており、キンク変形(*2)という
新しい材料強化メカニズムで強くなるとい
うことが分かったんです。

上野 簡単にいうと、どういうことですか？

河村 普通の結晶材料の原子配列は2周
期構造なんですけど、私たちが開発した長周
期積層構造は18周期という長い周期で積

「そんなことやっても無駄」と言われても
実感するまでやり続けることが大切なんですよ。



合言葉は、 Muddle Through

もがいて、もがいて

切り拓け！

層した構造になっていて、しかも濃度変調
を伴っているという新しい原子配列構造を
持つことが最大の特長ですね。

ゴールがない素材研究の世界。
もがき続ける経験が、自分の力に

上野 以前、河村先生は学生に「マグネシ
ウムの気持ちが分かるようになった？」と問
い掛けるとおっしゃっていましたね。

河村 学生には、マグネシウムの気持ちが
分かるようになるくらい生懸命やらないと、
いい研究はできないよという話をいつもして
います。

上野 一般に「ブレイクスルー(break
through)」と表現することが多いもの
ですが、先生は「マドルスルー(muddle
through)」という言葉を使っておられて、

印象的でした。

河村 「マドルスルー」というのは、苦労を覚
悟して問題に取り組み、試行錯誤しながら、
もがくことよって力が付き、そして乗り越
えた時に喜びがあるという意味で、事あるこ
とに学生に言っている言葉です。金属素材の
開発は、成果が出るか出ないか分からない
中で、もがき続けなくてはなりません。でも、
そのように試行錯誤を重ねただけ自分の
力や知恵になると思うんです。

上野 私も大学院の学生に研究指導して
いる中で、まさにこういう状態でもがいている
学生をよく見掛けます。その苦しみを乗り
越えたところに喜びがあるんだけど、その
渦中だと分からないものですよ。先生も
このような経験はありますか？

河村 私は名古屋大学を卒業してから、
研究員として民間企業に勤めていました。
30歳でその会社を辞めて、東北大学で学生
を始めたのですが、その頃はまさに全く先が
見えませんでしたね。

上野 経済的にも安定した企業の研究職
を辞してまで、もう一度学生として東北大学
で研究しようと思われた理由は何ですか？

河村 当たり前のことですが、企業は利益
につながると見込めるような研究以外は興
味がありません。また、ニューマテリアルブーム
が下火になり、企業における材料研究自体
が縮小することが分かっていました。思い切っ

*2 キンク変形…「キンク」とは、折れ・つぶれ・よれなどを指す。キンクが発生し、形状が変形すること

て退社し、どうせ行くなら、「アモルファス合金」の世界的権威である東北大学の増本健(つよし)教授の下で研究しようと思ったんです。また、大学院2年生の時に、父親を亡くし、初めて人生について考えたんです。そして「死ぬ時に自分のやりたいことをやるだけやっただと思ってる」と、強く思ったこともあり、将来を心配するより、「とにかく今やりたいことをやるんだ!」と必死ですよ。信条は「人の2倍働けば、絶対人よりもいい結果を出せる!」。ですから、土・日曜関係なく、研究に没頭しましたね。

小さな成功体験が、 大きな成功を生む原動力

上野 「諦めたときに失敗だ」とよく言いますが、研究をやり続けること自体が難しい。やはり何か小さくても成功の喜びがないと続かないんじゃないですか?」

河村 研究での失敗は次の研究を進めるヒントとなることが多いので、諦めないことが大切ですよ。研究を諦めないで続けるには成功体験というものが、とても大切ですね。学生には、少し頑張れば成功体験を味わうことができるようなテーマを選んでやってもらいます。私自身も名古屋大学時代に「アモルファス合金」の研究で味わった小さな成功体験が、研究を続ける原動力になっています。



苦しみを乗り越えたところに喜びがあることを
体験することが大きなチカラになりますね。

上野 モノをつくる研究は、形があつていいですね。我々は「社会」を研究し、その関係性や影響力を操作しようとするんですが、目に見えないものだけに難しい部分があります。同じように材料研究も実用化されて初めて見える部分がありますね。

河村 本多光太郎博士(*3)が「産業は学問の道場である」と言っているように、材料研究では実用化されて見えてくるところがあります。実用化には、品質、コスト、生産性、リサイクル性など学問と異なったことが求められます。研究者にとって「開発に成功した」と火花を打ち上げるだけで、実用化は企業に任せる方が楽であり、それが従来の流れでもありました。「KUMADAI耐熱マグネシウム合金」を開発したときに恩師の増本先生からいただいた「実用化まで面倒を見なさい。それが材料研究者なんだ」という言葉を胸に刻んで取り組んでいるところですよ。自分が開発した材料が実用化されることは材料研究者の夢ですね。

あこがれの航空業界などへの 応用も可能な素材へ

上野 高校生のころから航空機分野に興味を持たれていたそうですね。航空機に使用されるかもしれない素材を開発したことで、一歩夢に近づきましたね。

河村 「KUMADAI耐熱マグネシウム合金」は、軽くて強いという特性を持っています。マグネシウムの融点はアルミニウムとほとんど同じで650℃なんですけど、マグネシウムは溶けると燃え始めるので、アメリカ連邦航空局が航空機への使用を禁止しています。そのような課題を踏まえ、今年4月に開発した「KUMADAI不燃マグネシウム合金」は、純マグネシウムの沸点である1091℃を越えても発火せず、しかも高強度アルミニウム合金に匹敵する強度を持っていますので、航空機にも十分使える素材です。現在、世界最大のボーイングと共同研究の話を進めているところです。

上野 「KUMADAI不燃マグネシウム合金」の実用化に問題はないんですか?」

河村 新しいマグネシウム合金を実用化する時はいつもコストと耐食性が問題になります。添加している元素は安価ですので、低コストで簡単にすることができました。入っている元素の種類と組み合わせ、そして量にちょっとミソがあるだけで(笑)。また、耐食性は市販合金より若干劣っていますが、耐食性を向上させる「鼻薬」を探していけば、簡単に解決できると思つています。他の元素をほんの少し入れるだけでドラスティックに特性がアップしたりする。だから金属というものは実に面白いんですよ。

KUMADAI マグネシウム研究の “現場”

博士後期課程1年

城野 百合

マグネシウム合金は、温度制御をきちんとあげないと、ちゃんと力を発揮しないことも。世界で戦えるようならさらに進化したマグネシウム合金をつくるぞーっ!

直接押出プレス機

マグネシウム合金の加工条件をさまざまに変えて研究し、技術開発を行っている

修士1年

田代 哲也

最先端の研究をやってるな、と思える充実した毎日です。「自分たちが世界を変えるんだ!」という気持ちで、実験に打ち込んでいます。

4年

甲斐 昂成

まだ、研究を始めたばかりなので失敗もありますが、先生や先輩に助けられています。実際の社会に役立つものをつくるんだという実感が、研究の原動力!

沿革

History

2001年 粉末冶金法による「KUMADAI 耐熱マグネシウム合金」の開発
2003年 鋳造法による「KUMADAI 耐熱マグネシウム合金」の開発
2003年 地域新生コンソーシアム研究開発事業の実施(～2004年)
2003年 熊本大学高性能Mg合金創成加工研究会の発足
2005年 熊本大学拠点形成研究Bの採択
「環境軽負荷を目指した次世代マグネシウム合金の創製加工」

2006年 地域結集型研究開発プログラム(CREATE)の実施(～2011年)
2009年 科学振興調整経費「国際共同研究」の実施(～2011年)
2010年 地域イノベーション創出研究開発事業の実施
2011年 科学研究費助成事業:新学術領域研究の実施(～2015年)
2011年12月 「熊本大学先進マグネシウム国際研究センター」の開設
2012年 4月 「KUMADAI 不燃マグネシウム合金」の開発

COLUMN

革新的な金属材料の発信地、熊本

航空機への応用などが期待されている「KUMADAI不燃マグネシウム合金」。現在、航空機用アルミニウム合金を代表する「超々ジュラルミン」は第二次世界大戦の初期に活躍した“ゼロ戦”の主翼に採用され、飛躍的に飛行性能を向上し、航空業界に嵐を巻き起こした。開発されて70年を過ぎて、今もなお航空機の主要金属材料で有り続ける不動の存在だ。

「開発者である五十嵐博士は熊本県玉名郡月瀬村（現玉名市）出身。1936年に住友合資会社（現・住友軽金属工業株式会社）で『超々ジュラルミン』を開発した後は、私も在籍した東北大学の金属材料研究所に内地留学していらっしたんです。何か不思議な縁を感じますね」と語る河村教授。その歴史を塗り替えるような「KUMADAI不燃マグネシウム合金」がまた熊本の地で生まれたことも意義深い。熊本は、革新的な金属材料の発信地だといえるだろう。

帯ノコ

銅製の薄い帯状のノコギリ。金属の切斷・加工などに使用する

間接押出プレス機

金属を間接的に押し出す仕組みがあるため、摩擦が少なく加工しやすい利点がある

研究員

ジェイソン・ポール・ハドリン

卒業したバージニア大学でも「KUMADAI不燃マグネシウム合金」は話題！河村先生の下で、世界的な研究ができて幸せ！

特任助教

金 鍾鉉 (キム・ジョンヒュン)

今は「KUMADAI不燃マグネシウム合金」の方が注目を集めています、「KUMADAI耐熱マグネシウム合金」も研究を重ねてさらに進化中です。

学内に設置された成形・加工実験棟に集合した合金設計分野に携わるメンバーたち。それぞれの思いを胸に地道な闘いは続く

熊本大学

先進マグネシウム国際研究センター

2011年12月に「熊本大学先進マグネシウム国際研究センター」が設立され、研究人材の育成と材料研究の促進にさらに拍車が掛かる。自然科学研究科の材料工学・機械システム工学・複合新領域科学の各専攻と衝撃・極限環境研究センターや大学院先導機構から専門家が集結し、合金設計・合金評価・形質制御・構造体化の四つの研究分野によるアプローチ

で、さらなる研究開発と実用化を目指し、研究は続いていく。

世界最先端の研究施設「溶解・鑄造実験棟と成形・加工実験棟」では、マグネシウム合金の鑄造ビレットを作製したり、それを押し出し加工したりしている。学外の研究者も協働で研究に取り組む、まさに「核」となるプラントだ。

熊大で研究する意義は、 研究の自由と、学生と共に歩む喜び

上野 ところで「KUMADAI耐熱マグネシウム合金」という名称は、どのような経緯で付けられたのですか？ 大学にとつては「KUMADAI」というブランドが名称に入っていた方がありがたいんですけど「カワムラマグネシウム」でもよかつたんじゃないですか？(笑)

河村 かついい名前を付けたいなと思つていたんですよ。皆さんが「熊大合金」と言い始めて、それが先に広がったもので、そのまま商標登録をしました。

上野 企業で実績を上げると、パテントやライセンス料などの報酬があるでしょう？ でも先生の場合は、ライセンス料が発生してほとんどが大学に納められる。それでも大学で研究する一番のメリットは何ですか？

河村 大学には研究の自由があり、やりたいう研究を自分の考えでできる環境があること。これが一番大きなメリットです。また、これから未来に向かって成長し、羽ばたいていく学生と共に歩んでいく喜び。私が熊大で研究を続ける一つの大きな原動力です。

上野 熊大の学生は、才気走つてはいないけれども、コツコツとやっついていくという長所がありますね。

河村 ええ、共同研究などで民間企業に行くところの卒業生は、寡黙だけれどもとても活躍していますよ」と言われるのでうれしいですね。

上野 昨今、大学の在り方が問われていますね。産学官連携が叫ばれ、産業界などの要請で、即戦力となる人材育成などが大学に求められています。大学は、社会や企業への要請に沿った研究をすべきとお考えですか？

河村 私は工学系ですから社会や産業界への貢献を意識することは大切だと思います。教育・研究機関として、自由に研究を重ねる中で、産業界で使えるような成果が出たら産業界と協働する。また、産業界で即戦力となる人材育成を意識しなくても、研究がちゃんとできるように教育すれば、自然に即戦力となる人材に育つと思つています。ただ、「学生時代に知の最先端を走るといふことを体験しなかつた技術者が、産業界の最先端を走ることは不可能である」といわれているので、学生にはできるだけ最先端の研究を体験させたいと思つています。

実用化に向けて、熊大を世界の拠点へ

上野 昨年12月に「熊本大学先進マグネシウム国際研究センター」が設立され、研究者としてのお立場や、経営的な視点など、さまざまな役割を担っていくことになりそうですね。

河村 そうですね。一つの組織として多様な研究に取り組める反面、その組織の運営に携わる時間が必要になりました。一番大変なのは、これから先の道のりなんです。

上野 実用化まであと何年くらいかかるか見込んでいらしゃいますか？

河村 10年後くらいの商品化を見込んでいます。

上野 えっ！ そんなにかかるんですか？

河村 新材料が発見されてから、実用化までおよそ20年かかるといわれています。まず、大型の合金をつくるための「大型素材製造技術の開発」。次に安く大量に品質の良いものをつくる「量産化技術の開発」。最後に、「応用製品の開発」による市場の開拓という三つのステップを経て、初めて実用化にたどり着きます。現在、「大型素材製造技術の開発」というステップはクリアしていますので、あと10年くらいは必要かなと見込んでいます。

上野 「KUMADAI不燃マグネシウム合金」の方はどうですか？

河村 まだ開発してから時間が経っていないので、これから大型素材の製造技術を開発していきます。海外の大手素材メーカー複数から素材を製造させてほしいという話

実用化への道のりは、
まだ始まったばかり。
これからが大変です。



同じ大学にいても
異分野だと
知らないことが多い。
興味深い話ばかりです。

が来ていますが、素材は日本でつくりたいと思つています。手探りの状態ですね。

上野 10年後、どのような市場規模を想定なさっていますか？

河村 アルミ合金の10%くらいの市場は獲得できるのではないかと見込んでいます。現在、マグネシウムはアルミニウムの1000分の1程度しか市場がないので、単純に考えれば、現在のマグネシウム合金の100倍くらいの市場規模になればいいと思つています。

上野 先生の今後の夢を教えてください。

河村 熊大をマグネシウム研究の世界的拠点にし、二つのKUMADAIマグネシウム合金を実用化して世界に普及させたいですね。また、若い学生を育て、世界に役立つような人材を送り出したいですね。

夢の合金の“凄さ”を知る!

KUMADAI 不燃マグネシウム合金 “読本”

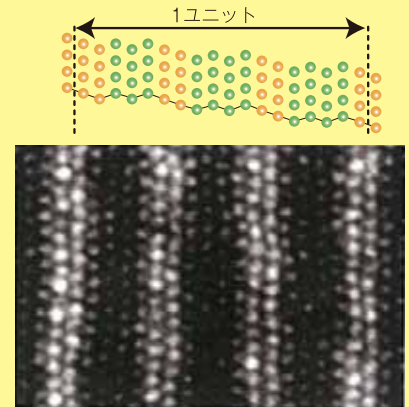
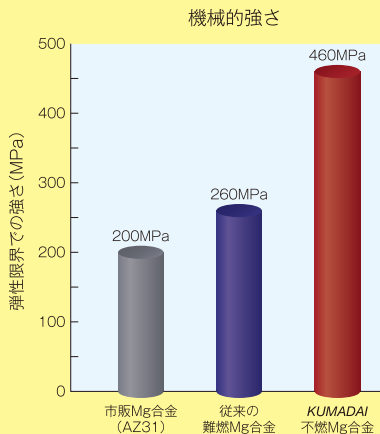
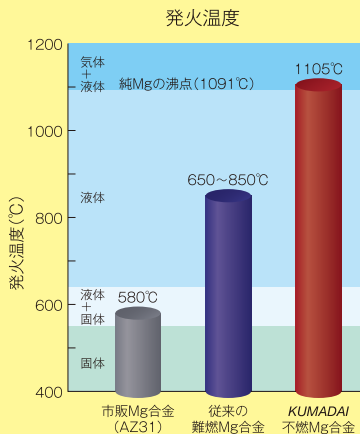
01 そもそも「マグネシウム」ってどんな金属？

マグネシウムは実用金属で最も軽く埋蔵量も豊富。海水中にたくさん含まれている。しかも人体や環境に優しく、リサイクルが容易な金属でもある。結晶構造（原子配列構造）は六方最密充填構造（HCP）である。



02 マグネシウム合金ってどんなもの？

金属に他の元素を混ぜたものが合金だ。マグネシウムも合金化することで原子配列構造や微細組織が変化し、特性が著しく向上する。例えば、マグネシウムに1%の亜鉛と2%のイットリウムを添加するだけで、新奇な長周期積層構造が形成され、常温と高温での機械的強さが大きく向上する。これが「KUMADAI耐熱マグネシウム合金」だ。



長周期積層構造を示す原子分解能電子顕微鏡写真

03 従来のマグネシウム合金の問題は？

一般的なマグネシウム合金は、常温での機械的強さや耐熱性(200°C~300°Cでの機械的強さ)が不十分なので、軽量という特長を十分に生かせなかった。また、550°C~600°Cで発火してしまうので、もし従来のマグネシウム合金で飛行機などをつくったら、事故が起きた時の被害が大きくなってしまふ。

04 「KUMADAI」マグネシウム合金と他のマグネシウム合金とどこが違うの？

室温での強さや耐熱性を克服しようと開発されたのが「KUMADAI耐熱マグネシウム合金」だ。世界最高の強度と耐熱性を達成。ただ、依然として発火しやすいという問題は解決できなかった。

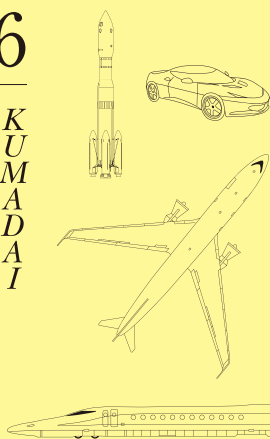
だが、ついに「燃えない」マグネシウム合金が完成した。それが「KUMADAI不燃マグネシウム合金」だ。なんと純粋なマグネシウムの沸点(1091°C)に達しても燃えないのだ。耐熱性は一般的なマグネシウム合金並みだが、常温での降伏強さ(弾性限界での強さ)が2倍以上もある。

05 どんな用途で使われるの？

軽量化で燃費向上が期待できることから、自動車、航空機、高速鉄道車両などへの利用が考えられている。それ以外にも医療器具やスポーツ・レジャー用品など、幅広い産業にも応用できる。すでに自動車メーカーや航空機メーカー、医療器具メーカーなどと、実用化に向けた共同研究が進められている。

06 KUMADAIマグネシウム合金の特許はいつあるの？

これまでに69件の特許出願を完了している。既に18件の特許が成立しており、8件の特許が企業にライセンスされている。



実用金属で最軽量! 「マグネシウム製名刺入れ」 プレゼント!

アンケートハガキ(P21参照)にご協力いただいた方から抽選で5名様に「MRC(熊本大学先進マグネシウム国際研究センター)ロゴ入りマグネシウム製名刺入れ」をプレゼントします。



※「KUMADAI耐熱・不燃マグネシウム合金」製ではありません。

研究室探訪

Laboratory Exploration

菊池哲平研究室

教育学部

特別支援教育学科

座学と実践で、教育者として総合的な力を身に着ける！

肢体不自由や知的障がいなど、特別支援教育を必要とする人々への理解と支援法について学ぶ「特別支援教育学科」。中でも菊池哲平研究室では、自閉症やアスペルガー症候群など、発達障がいに関する研究を行っています。“コミュニケーションの難しさ”という問題を抱える発達障がいの子どもたち。症状に個人差もあることから、教育・対処法などのマニュアルが確立されていないのが現状です。「教育者を目指す学生が、座学で発達障がいへの理解を深めるだけでなく、子どもたちと直接触れ合うボランティア活動を通じて、実践的な力を身に着けることに力を入れています」と菊池先生は語ります。

さまざまな立場の学生が、フランクに意見交換！

“菊池研”では、教員を目指す13人の学部生の他、専攻科や院生を含めた総勢20人が、毎週木曜の午後5時からディスカッションを重ねています。「ゼミには、学生だけでなく現役の教員も在籍していますので、さまざまな視点に接する絶好の場。素朴な雑談の中から、研究テーマが見つかることも多いので、社会で話題になっているさまざまなトピックをフランクに語り合えるような雰囲気を大切にしています」と菊池先生。4年生の続 悠未さんは「ディスカッションは、6時間に及ぶことも。仲間たちの視点に触れることは、研究の参考になりますね」。また、小学校教諭で、4月から研究室で学ぶ中石ひさ子さんは「今まで現場でやってきた実践に、理論的な裏付けがあることを実感します。現場に生かしていきたいですね」と語ります。

子どものケアだけでなく、環境調整を図れる教育者に

菊池先生は「発達障がいは、周りにいる人の接し方によって、本人の“生きにくさ”をかなり軽減することができます。障がいを持つ子どものケアだけでなく、保護者や教員など、周りの人たちの障がいへの理解を促し、環境調整を図れるような教育者を目指してほしいですね」と学生にエールを送ります。

発達障がいもたらすさまざまな症状や特徴について研究を重ねる菊池哲平研究室。
障がいを持つ人々への理解を深めることで、効果的な支援・アプローチ法を学んでいます。



← 身近に発達障がいの子もいたことから、この分野の研究に飛び込んだという菊池先生。「成長の“偏り”は個性の一つ。彼らから学ぶこともたくさんありますね」

→ 認知評価システム「DN-CAS」を使って、子どもの認知処理過程を測定し、支援に役立てている



↑ 毎年恒例の阿蘇旅行。「時には、勉強のことを忘れて、楽しむことも大事」と菊池先生



← 「KIKUCHI lab.」のロゴが入ったポロシャツ。学校などでのボランティア活動の際に着用

→ 講義や演習だけでなく、実際にさまざまな障がいのある子どもたちへの臨床活動を学生と共にしている。写真は動作法による自閉症児へのアプローチをしている様子





発達障がいの研究を通じ、 実践力を備えた教育者を育てる

研究室は、大学生・院生・専攻科を合わせて20人で構成。ゼミでは幅広い年齢層の学生たちが意見交換をする



菊池哲平研究室とは？

発達障がいを心理学的側面から研究。発達障がいの診断基準や、さまざまなセラピーの理論的背景などを教育している。また、学生と共に小・中学校でボランティア活動を行ったり、さまざまな発達障がいを抱える人たちやその保護者、教員などに対して、講演活動を行うなど精力的に活動している。



01

高大連携

谷口学長を囲み、
講義の後も
語らいは続く

特集Ⅱ

小・中学生、高校生、集まれ！ 熊大で学ぼう！

熊本大学では、小学生から中学生、高校生を対象に、さまざまな連携事業を行っており、大学の垣根を越えて学び合うことができる場を提供しています。4月には高大連携推進室を設置し、高校と連携した教育活動にも力を入れています。ここでは大学の教育活動をぐっと身近に感じられる取り組みを紹介しましょう。

講義の後には、
懇談の時間

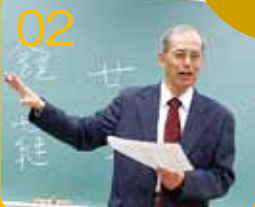


04

「熊大サマースクール」にて、先生と生徒のための「極低温科学実験講座」を開催



06



02

「鏡と分身の文学」
について講義する
大学院社会文化
科学研究科
森 正人教授



03

真剣なまなざしで
聞き入る
受講生たち



05

大分日田高校での
出前授業の様子



07

高大連携推進室の皆さん。
左より円山准教授、
市村学長特別補佐、
安部副学長、佐藤スタッフ、
中島高大連携推進
コーディネーター

大学の授業って面白い！ 高大連携でステップアップ

6月9日(土)、「高校生のための熊大ワクワク連続講義」がスタート！初講義では高校生たちが生き生きとした表情で講義を受講する姿が見られました。高校と大学が連携して行う教育活動－高大連携を推進する高大連携推進室長の安部眞一副学長は「高校生は今、学力はもちろん、実行力、コミュニケーション能力などが求められています。“高校の授業が大学での学習や研究にどう役に立つのか”を知り、受験の先にあるキャンパスライフや将来の夢の実現につなげる力にしてほしい」と語ります。谷口学長をはじめ、そうそうたる研究者たちが担当する30の講義がズラリとそろいます。全学部の講義を高校生が興味を持って楽しく学べるようにと、「税金のしくみはどうなっているの？」など身近な話題から、「地球科学研究」では地球の未来をテーマに、さらに講師陣の国際色も豊かで、仕掛け人の高大連携推進室スタッフ一同も“ワクワク!”。楽しく、面白い上にためになる講義の数々を届けます。

「高速道路の料金はどやって決めるべきなの？」という講義を行うのが熊本大学政策創造研究教育センター・円山琢也准教授。「偏差値で大学を選ぶのではなく、各学部の特長や講義内容などを直接体験して、自分のやりたいことに出会ってほしい」と語ります。

また、夏休みを中心に「熊大の先輩タイ(隊)」と銘打って本学学生が母校を訪ね、自らがやっている学習や研究の目的や意義、内容、面白さなどを、高校生に分かりやすく伝え、熊大の研究力と魅力を紹介する取り組みもスタート。

一連のプロジェクト事業は、現役熊大生たちもサポートしており、高校生に向き合う際に自分の研究テーマや姿勢などを振り返る良い機会になり、社会性も身に着く。学生たちにとっても意義深い高大連携の取り組みです。

各学部の教員たちが各高校に出向く「出前授業」など、従来の取り組みに加え、さらに高大連携を深めていきます。

ワクワクサポーターが、
受講生の皆さんを、
がっちり、しっかりサポートします！



大自然に学ぶ、環境保全と命の大切さ
教育学部が取り組む小・中学との連携

教育学部では、小・中学生を対象にした「夏休み自由研究相談教室」、「ひらめき☆ときめきサイエンス」(19ページ参照)など、さまざまな取り組みを行っています。中でも「無垢島自然体験学習会」は今年8年目。大分県津久見市の沖合に浮かぶ無垢島を舞台に、小・中学生が2泊3日で化石の発掘体験や磯採集など、自然体験の内容をテーマに学習します。

「人の手が入っていない無人島に行き、ありのままの自然に触れ合うことに意義があるんですよ」と語る教育学部理科教育講座・田中 均教授。およそ1億年前の地層は白亜紀の世界。小さな貝殻の化石などを見つける子は多く、中にはアンモナイトを発掘した子もいたと田中教授。「自然の中であって初めて、環境を守ることに意義を知り、行動に結び付いていく。無垢島では飲み水以外は、風呂も洗濯も雨水を利用しています。ジョーロ1杯の水でシャワーを浴びる経験を通じて、水資源の大切さも身を持って知ることができますね」。

不登校などの問題を抱えた子も自然体験学習会を通じて友だちができ、仲間と触れ合うことで、また学校へと戻った例も見られました。「化石を発掘できた、ナマコに触れるようになった、など、子どもたちにとって初体験ばかり。その成功体験が自信となって、ぐんと成長して帰るんですよ」。

子どもたちにとって大学生のお兄さん・お姉さんと触れ合うことも楽しみの一つ。学生にとっては、教育実習とはまた違うありのままの生徒たちに向き合うチャンスです。自然を守り、命の大切さを学ぶ体験学習。この夏も無垢島で新しいドラマが待っています。

ヒトデに触れない子も
勇気を出して採取

小・中高生
自然体験学習会



08



地元の子どもたちも
一緒に触れ合う
磯採取の様子



10



09

苦手な採取を
克服して生き生き!
「捕まえたよ!」



11

貝の化石発見!



岩場に座り込んで
地道な作業が続く

12

君も熊大で学ぼう! 参加料無料

第9回
夏休み自由研究
相談教室

小・中学生

夏休みの自由研究で、研究の方法、調べ方、まとめ方など、大学教員と大学生が自由研究の相談にお応えします。

- 日時/7月29日(日) 10:00~15:00
- 所/教育学部理科棟1F1-B講義室
- 対象/小学生(保護者同伴)、中学生、小中学校教員
- 定員/30名(※要事前申込)
- 【問い合わせ】Tel.096-342-2547(渡邊)
- URL: <http://rika.educ.kumamoto-u.ac.jp/event/>



第10回 中学生を対象とした
夏休みの自由研究に関する技術相談会

中学生



- 中学生が考えた研究テーマについて、大学教職員が相談員となり、工学部内の実験施設・設備を活用して研究のアドバイスをを行います。
- 日時/7月29日(日) 9:00~17:00
 - 所/工学部百周年記念館
 - 対象/中学生
 - 7月17日(火) 17:00までに要事前申込
 - 【問い合わせ】Tel.096-342-3879(上村)
 - URL: <http://www.tech.eng.kumamoto-u.ac.jp/soudankai/>

高校生のための
熊大ワクワク連続講義

高校生

特集(13ページ)でご紹介した“ワクワク連続講義”を体験してみませんか。

- 日時/11月17日(土)までの土曜16日間、全30コマ。
- 10:30~12:00、13:00~14:30

- 所/黒髪キャンパス内の講義室
- 対象/高校生・教師など
- 学校を通じて要事前申込

- 【問い合わせ】
- Tel.096-342-2142 (高大連携推進室)
- URL: <http://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuus-hi/koudairenkei/project/index>



未知の世界、ドイツで 自分を高めたい!

法学部4年 ^{ふなば} 船場智代さん

2011年3月から翌年2月まで、交換留学生として、ドイツのザールラント大学に留学した船場智代さん。さまざまな国の人との交流の中で、文化の多様性や自己主張の大切さを学んだと語ります。



ザールラント大学では、語学コースを選んだ船場さん。コース最終日に友人たちとお疲れさまパーティーを開催した思い出の1枚

第2外国語でドイツ語を選択したことをきっかけに、ドイツに興味を持ちました。留学するならば、英語圏の方が安心かな、という思いもありましたが、せっかくな行かせていただくチャンスを得たので、未知の世界で、自分を高めたい! と思い、ドイツに決めました。

ザールラント州は、ドイツで一番小さい州です。大学の寮には、トルコやインド、アメリカなど、さまざまな国の留学生がいました。会話はすべてドイツ語でしたが、最初は分からず苦労しましたね。「ストウディエン・コレーク」と呼ばれるドイツ語クラスでは、一番下のレベルから始めました。3カ月くらい経つと日常会話はできるよ

うになり、友だちに折り紙や日本語を教えたり、ちらしずしパーティーを開いたりして、交流を深めました。

「ストウディエン・コレーク」ではアウトプット型の授業が印象的でした。日本では、知識を自分の中に蓄積することに重点を置きますが、ドイツでは習ったことをすぐに試したり、表現する力を訓練されます。先生からは「黙っているより、たとえ間違っただとしても発言することに価値がある」ということを徹底的に教えられ、ディスカッションのクラスでは、なるべく自分の意見を言うように促されました。留学前は、自分の失敗に過剰に落ち込んでいたのですが、熊本大学に戻ってから、ゼミなどの場で、間違っても「大丈夫」と樂觀的に捉えられるようになりました。将来は、ドイツやヨーロッパに関連する仕事ができればと思います。さまざまな人と関わる仕事に就けるとうれしそうですね。



留学中、夜8時には街の灯りが消えてしまう田舎町で過ごし、帰国後に熊本の夜の明るさに驚いたとか。「エコについて考える機会になりました」

International exchange Report
国際交流レポート
平成24年3月~5月

3 / 7 カリフォルニア工科大学アメリカ来学
電気工学部Yu-Chong Tai教授が「Catech」での教育研究事情」について講演を行いました。

17 ニューカッスル大学(オーストラリア)海外語学セミナー実施(4月3日まで)

19 四川大学(中国)来学

李光憲常務副校長以下8名が谷口学長を表敬訪問しました。



4 / 3

テキサス大学サンアントニオ校(アメリカ)来学
John Murphy 建築学部長が谷口学長を表敬訪問しました。



6 日本語研修コース・短期留学コース開講式

10 サンテイエニス国立高等鉱業学校(フランス)来学
材料構造科学部Woo-Suck Han准教授が原田理事および高島大学院自然科学研究科長を表敬訪問しました。

16 北京工業大学(中国)来学

郭廣生学長以下5名の訪問団が谷口学長を表敬訪問しました。

世界から熊本大学へ

九州の方言や若者言葉について研究し、日本の今を知りたい!

大学院社会文化科学研究科 日本・東アジア文化科学研究コース1年
フン・テイ・グエトさん

昨年10月に来熊し、日本語教諭を目指すベトナム人留学生のフン・テイ・グエトさん。若者言葉や方言の研究を通し、日本への理解を深めたいと語ります。



子どものころから日本のマンガやドラマが大好きでした。特に、貧しい中、力強く前に向かって進む「おしん」のメンタリティーの強さに感動したことが、日本文化を学びたいと思っただけです。ハノイ大学日本学部の学生だった頃、交換留学生として1年間大阪大学で学びました。その後、さらに日本で学びたいという思いが募り、大学卒業後に熊本大学に来ました。

私が熊本大学を選んだ理由は、「九州の方言」について学びたいという思いがあったからです。熊本大学には「九州の方言」を専門に研究されている大学院社会文化科学研究科 坂口至先生がいらっしゃると思います。坂口先生に、ベトナムから「九州の方言」について



周囲のみんなが親切で優しくしてくれるのがうれしいと語るグエトさん。「研究テーマの一つである若者言葉を聞きたいのに、みんな丁寧な言葉で話してくれるのが残念」



今年2月、熊大の留学生一同で雲仙・島原へ見学旅行へ。「島原城や普賢岳などの歴史に触れるひとときを過ごしました。他国から留学している友だちとも知り合い、うれしかったです」

て学ばせてください」とコンタクトをとり、現在は先生の指導の下、日本のみならず東アジア諸国の文化についてさまざまな角度から学んでいます。好きな熊本方言は「せからしか」や、語尾に「けん」を付けるところ(笑)。私が熊本に在る間に、使いこなせるようにマスターするのが夢なんです。

また、日本の若者言葉についても研究しています。「KY」など略語が多い若者言葉は、便利な反面、長年受け継がれてきた日本語の美しさが損なわれるというデメリットもあります。また、流行り廃りがあるものもあれば、新しい日本語として定着するものもあり、さまざまな切り口で研究することで、日本独自の価値観や言語感覚について考察したいと思っています。マンガの影響もあり、日本文化に興味を持つベトナムの若者が増えています。将来は、熊本大学で学んだことを礎に、文化や考え方など、いろんな日本の姿を伝えることができる日本語の先生になりたいですね。

5 / 2

谷口学長、忠北大学校(韓国)を訪問(4日まで)

谷口学長をはじめとする本学訪問団が、忠北大学校を訪問しました。大学間交流協定の調印式を行い、金承澤総長他同校幹部職員と意見交換を行いました。



12

熊本留学生交流推進会議主催ウェルカムパーティー
250名を超える留学生および日本人学生が参加し、熊本県内の大学サークルによる出し物やゲームを通して親交を深めました。



23

培材大学校(韓国)来学
金永浩総長以下4名の訪問団が谷口学長を表彰訪問しました。

バンドン工科大学(インドネシア)来学
地球科学工学部 Yone M. Radjawan 教授が高島大学院自然科学研究科長を表彰訪問しました。

17

生命資源研究・支援センター、中国食品医薬品検定研究院(中国)との学術交流協定新規締結を記念し、セミナーを開催
マウスリソースバンクと生殖工学の応用をテーマに、北京でセミナーを開催しました。約80名が参加しました。



卒業生ジャーナル

Graduates' Journal

本学の卒業生たちの“今”に迫る「卒業生ジャーナル」。
 熊本県内はもとより、国内外で活躍する先輩たちの
 これまでの歩みや苦勞、そして喜び、楽しみなどを通して
 精勵するその姿をご紹介します。

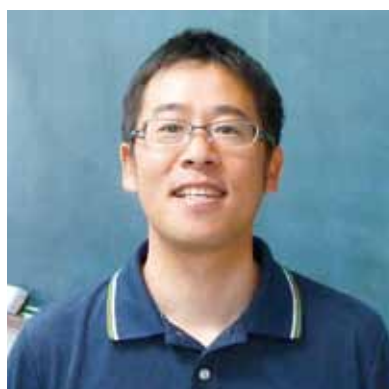


松浦 達己 Tatsuki MATSUURA



王子製紙株式会社(北海道) 勤務
 工学部機械システム工学科・平成21年度卒／大学院自然科学研究科産業創造工学専攻博士前期課程・平成23年度修了

北海道の製紙工場で、工場内のマシン設備の操業・保全、紙の原料であるパルプの製造、工場で扱っている電力・蒸気の管理など、多種多様な業務の中で勉強の日々を送っています。大学では先生の熱心な指導により、研究発表の場を度々いただき、論文として形にすることもできました。このような成果を残せたことは現在の自信に繋がっています。また、キャンプ、スノーボードに旅行など仲間と共に楽しい日々を過ごすこともできました。今はどのように行動するかを自分の裁量で決めることが多いと思います。そのため選択肢の多さで迷うこともあります。そんな時に悩みを共有できるような友人をぜひ作ってください。



西村 嘉史 Yoshifumi NISHIMURA



宮崎県立都城農業高等学校 勤務
 教育学部中学校教員養成課程・平成15年度卒／大学院教育学研究科教科教育専攻・平成17年度修了

現在は宮崎県立都城農業高等学校の教諭として、担任・生徒会・さらには野球部顧問と忙しい毎日を送っています。普通科しか知らなかった自分にとって、現在、専門高校で過ごす経験は新鮮であり、多くのことを学んでいます。大学在学中に培った「研究心」は現在の私の礎であり、私を支えてくれた研究室の仲間や先生方との思い出は忘れることはできません。学生の皆さんには、限られた時間の中で多くのことに挑戦し、自分自身の将来を切り拓くための能力を身に付けてほしいと思います。



小林 大祐 Daisuke KOBAYASHI



株式会社三菱東京UFJ銀行(東京) 勤務
 法学部法学科・平成20年度卒

法人のお客様を中心に担当しています。資金調達をはじめとした企業の抱える経営課題に対してソリューションを提供しています。熊本大学で得たことは、「考え続ける」ことの大切さです。明確な答えの無い問いに対して、限られた時間の中で自分なりの答えを導き出すことを学びました。それは現在の業務でも大変役立っています。法学部在籍中に、幅広い講義を受講できるのも熊本大学の大きな魅力です。ゼミの教授、仲間たちと2年間を過ごしたことは大変思い出に残っています。今でも連絡を取り合う大切な仲間です。熊大には好きなことに挑戦できるフィールドが整っています。色んなことに興味を持ち、視野を広げてほしいと思います。

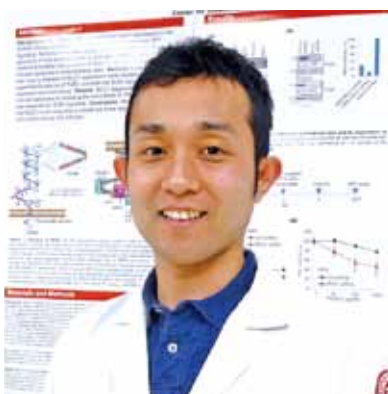


山下 紗登美 Satomi YAMASHITA



東映株式会社(東京) 勤務
文学部総合人間学科人間科学コース認知心理学研究室・平成22年度卒

弊社制作のテレビ作品、主に実写キャラクター番組のマーチャンダイジング業務を行っています。大学時代には、当たり前に行っている人間の行動を科学的に研究し、物事を客観的に捉える視野を築いていきました。現在、多岐に渡る商品やキャンペーンを展開していますが、これらの客観的視点と科学的な根拠を駆使しながら、より良いものを作るために日々励んでおります。また当時は写真部に所属していましたが、現在でも写真に触れる機会が多く、楽しんで仕事しています。大学生活での何気ない日常が現在の私の支えとなっています。皆さんも与えられた時間が限られていることを忘れず、楽しく有意義に過ごしてください。



加藤 浩亮 Kosuke KATO



テンプル大学医学部生理学分野(アメリカペンシルベニア州) 勤務
神戸学院大学薬学部薬学科・平成14年度卒/熊本大学大学院薬学教育部博士前期課程・平成19年度卒

現在、テンプル大学で『肺における免疫制御機構の研究』を行っています。本来生体に備わる機能により外来異物に対する免疫応答がどのように収束していくのかを分子レベルで解明するのが目的です。在学中には目標を一段高く設定し、立ち向かうことが次への飛躍につながることを体験しました。こうした体験こそが、言語、習慣の壁を乗り越えて、挑戦し続ける支えになっています。今も先生方や同級生とは国際学会などで交流を深めています。在学中、時には深夜に及ぶまで仲間と研究について語ったことなど、アメリカにいると一層懐かしく感じます。困難なことがあってもポジティブな視点で捉えてみてください。一步踏み出せばそこからチャンスが広がります。



鶴田 千春 Chiharu TSURUTA



熊本市西区役所保健子ども課 勤務
医学部保健学科看護学専攻・平成21年度卒

熊本市西区の城西校区を受け持ち、訪問などを通じて、子育て支援や精神疾患を抱えた方が安心して生活ができるよう、個別支援を行っています。その他、生活習慣病予防のための教室など、さまざまな対象者の健康の維持増進のための活動を行っています。大学で得たものは、共に看護職を目指す友人と、温かく支援してくださった先生方との出会いです。友人とは今でも良き仲間であり、そして先生方は就職活動の時も手厚い指導をしてくださり、現在でも“何かあったら戻る場所”として、心の支えになっています。病院実習や就職活動、サークル活動などは現在も私が働く上でとても役に立っています。皆さんも熊本大学で、学生生活を楽しんでください。



日野 恭兵 Kyohei HINO



新日鉄ソリューションズ株式会社(東京) 勤務
理学部理学科・平成21年度卒/大学院自然科学研究科理学専攻博士前期課程・平成23年度修了

入社して3カ月目、研修を行っています。模擬プロジェクトなどの研修を通して、ITスキルはもちろんですが、チームとしての仕事の進め方などのビジネススキルや、ビジネスマナーなど毎日さまざまなことを学んでいます。プロジェクト内で発生した問題の対処など、はっきりと答えのない課題に取り組まなければなりません。熊本大学で培った自ら考え学んでいく姿勢で頑張っています。さまざまな価値観を持つ同期に良い刺激を受けると共に、私もいろいろと経験しておけば良かったと後悔することもあります。大学生時代にさまざまなことにチャレンジして視野を広げてください!

Report 「名誉教授称号授与式」が行われました



前列左から古川憲治名誉教授(自然科学研究科)、伊藤喜久男名誉教授(同)、井上高宏名誉教授(同)、谷口 功学長、城 昭典名誉教授(自然科学研究科)、檜山 隆名誉教授(同)、小野義美名誉教授(法曹養成研究科)、入口紀男名誉教授(総合情報基盤センター)。

※木田建次名誉教授(自然科学研究科)、廣江哲幸名誉教授(同)、菅生 均名誉教授(教育学部)は欠席

5月25日(金)、本学事務局棟大会議室にて、「名誉教授称号授与式」が行われました。名誉教授の称号は、教育や研究の上で特に功績のあった方に贈られるものです。本年は自然科学研究科から7名、法曹養成研究科から1名、教育学部から1名、総合情報基盤センターから1名の計10名の教授に称号が授与されました。式典にはうち7名が出席。谷口功学長は7名に名誉教授の称号を授与し、長年にわたる大学への貢献と功績をたたえました。

Info 平成24年度「ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI」

(研究成果の社会還元・普及事業)に熊本大学のプログラムが2件採択されました

(独)「日本学術振興会」が公募するこの事業は、大学などの研究機関で行う最先端の科研費の研究成果について、小学5・6年生、中学生、高校生を対象に、じかに見る・聞く・触れることで科学の面白さを感じてもらおうプログラムです。本学では二つのプログラムを実施します。参加は無料、WEBからのお申し込みもできます。

【実施プログラム一覧】

URL:<https://cp11.smp.ne.jp/gakujutu/seminar>

①地層を見て、触って、石を砕いて学ぶ郷土の成り立ち

日時／7月24日(火)

場所／球磨中学校

※本学に集合し、貸切バスで移動します。

対象／中学生・高校生

定員／40名

申込締切／7月2日(月)

【問い合わせ】

教育学部理科教育(地学) 田中・笹井

Tel&Fax.096-342-2539

E-mail.hitoshi@educ.kumamoto-u.ac.jp

②「超臨界流体」と「マイクロ波」を使って地球環境を改善しよう!

日時／8月2日(木)、8月3日(金)

場所／工学部物質生命化学科

会議室および化学工学研究室

対象／高校生

定員／20名

申込締切／7月20日(金)

【問い合わせ】

工学部物質生命化学科 佐々木

Tel.096-342-3666

Fax.096-342-3665

E-mail.masasaki@kumamoto-u.ac.jp

Info 平成24年度(社)日本肝臓学会 肝がん撲滅運動市民公開講座「肝がんZEROを目指して」を開催します



熊本県肝疾患診療連携拠点病院である熊本大学医学部附属病院と(社)日本肝臓学会、熊本県が共催して、肝がん撲滅運動市民講座「肝がんZEROを目指して」を開催します。肝がんをはじめとする肝臓疾患について最新の情報を発信し、熊本県民の健康増進に寄与することを目的として開催されます。

日時／7月28日(土) 16:00~18:00

場所／人吉カルチャーパレス、玉名市民会館、やつしろハーモニーホール、くまもと県民交流館パレア、山鹿市民医療

センター、天草宝島国際交流会館ポルト、水俣市立総合医療センター各会場

対象者／一般の方

参加料／無料

事前申込／不要

【問い合わせ】

熊本県肝疾患診療連携拠点病院肝疾患センター(熊本大学医学部附属病院)

Tel.096-372-1371

URL:[http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp](http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/hepatolo/)

/hepatolo/

市民公開講演「夢は叶うもの、思い強ければ 笑顔 笑顔」を開催

8月4日(土)、日本看護学教育学会第22回学術集会(学術集会長:本学・森田敏子教授)内で、市民公開講演を開催します。講師は「風の丘 阿蘇大野勝彦美術館」館長の大野勝彦氏。不慮の事故で両腕を切断、「湧き出る生」への思いを詩に託し、生の喜びを水墨画へ表現され、その作品は感動を与えてくれます。
 日時/8月4日(土)15:00~17:00
 場所/熊本県立劇場 演劇ホール
 対象者/一般向け 参加料/無料
 事前申込/「学会サポートセンター熊本」までお申し込みください。
 当日参加も可能です。

【申込・問い合わせ】
 学会サポートセンター熊本 Tel.096-373-9188
 E-mail:jane22@higo.co.jp URL:higo.co.jp/



全国同時七夕講演会「宇宙の始まりにせまる」

宇宙はどのように始まりどのように進化し、そして未来はどうなっていくのか?現代物理学が解き明かしつつあるこのような根源的な謎に、豊富な映像資料を用いて迫っていきます。講演後には大学院生との交流の時間も設けます。
 日時/7月6日(金)16:30~18:00
 場所/黒髪南キャンパス 理学部3号館2F
 対象者/中学生以上 参加料/無料
 事前申込/不要
 【問い合わせ】
 理学部理学科物理化学講座 高橋
 E-mail:keitaro@sci.kumamoto-u.ac.jp

平成24年度「中学校及び高等学校における遺伝子教育研修会」〈形質転換コース〉を開催



遺伝子の基礎知識から先端研究までの講義および遺伝子組み換え実験の体験を通して、教育現場での遺伝子教育のあり方を議論する場といたします。
 日時/8月9日(木)~10日(金)
 9:30~17:00
 場所/生命資源研究・支援センター 遺伝子実験施設6F
 対象者/中学・高等学校現職理科教員およびその関係者
 参加料/無料

事前申込/7月20日(金)までに、受講申込書に必要事項を記入し、郵送・ファクス・メールにてお申し込みください。締切後、受講者を決定し、受講決定通知書を交付いたします。
 【申込・問い合わせ】
 生命資源研究・支援センター遺伝子実験施設
 〒860-0811 熊本市中央区本荘2-2-1
 Tel.096-373-6501
 Fax.096-373-6502
 E-mail:www@gtc.gtca.kumamoto-u.ac.jp
 URL:http://www.gtc.egtca.jp/view/kouken/rika24

ミニみなまた環境塾3 ~サイエンス&エコサマースクール~

本学が水俣市で実施している大学生・社会人のための人材育成プログラム「みなまた環境塾」。今回は小・中学生を対象に、科学する楽しさを知ってもらうために「ミニみなまた環境塾3~サイエンス&エコサマースクール~」を開催します。自由研究などにも最適です。
 日時/8月16日(木)
 9:00~15:30
 場所/みなまた環境テクノセンター(水俣市浜松町5-98)
 対象者/水俣・芦北地区に住む小学生(高学年)と中学生
 定員/30名 参加料/無料

事前申込/7月13日(金)までに電話またはファクス、郵送、ホームページよりお申し込みください。
 【申込・問い合わせ】
 自然科学系事務ユニット
 みなまた環境塾担当者
 〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1
 Tel.096-342-3519
 Fax.096-342-3905
 URL:http://ecomot.org/



Info 熊本大学グローバルCOE「エイズ制圧を目指した国際教育研究拠点」一般向け公開シンポジウム

本学の満屋裕明教授ほか、国際的エイズ研究者たちが、一般の方にも分かりやすく、最新のエイズ研究の現状をお話します。事前申込不要、参加費は無料です。
 日 時／8月31日(金)13:10~17:00
 場 所／大手町ファーストスクエア
 カンファレンス
 (東京都千代田区大手町1-5-1
 大手町ファーストスクエア
 イーストタワー2F)

【問い合わせ】
 グローバルCOE推進ユニット
 Tel.096-373-6832
 E-mail:g-coe2@jim.kumamoto-u.ac.jp
 URL:http://www.caids.kumamoto-u.ac.jp/2012aug



Info ブルーリボンキャラバン—もっと知ってほしい大腸がんのこと



詳細はホームページにてご確認ください。
 URL:http://www.cancernet.jp/brc/

NPO法人「キャンサーネットジャパン」が全国各地で行っている大腸がん患者・家族のための無料公開講座「ブルーリボンキャラバン」。大腸がん疾患啓発・医療情報発信のために行われる本セミナーが、熊本大学生命科学研究部消化器外科の共催により、熊本で開催されます。講演やコンサート、パネルディスカッションなどが行われ、大腸がんの予防・検診、また外科的治療・薬物療法について理解を深めます。

日 時／9月22日(土)
 13:00~17:00
 場 所／熊本市医師会館
 (熊本市中央区本荘3-3-3)
 対象者／一般の方
 参加料／無料
 事前申込／電話またはファクス、郵送にてお申し込みください。
 【申込・問い合わせ】
 特定非営利活動法人キャンサーネット
 ジャパン
 〒113-0034 東京都文京区湯島1-10-2
 御茶ノ水K&Kビル2F
 Tel.03-5840-6072
 Fax.03-5840-6073

Info 「第11回薬用植物を知ろうin熊本」を開催します

本学薬用資源エコフロンティアセンターが主催する薬用植物観察会です。講師の案内で私たちの身近にある薬草を学びます。

10月6日(土)
 場 所／大江キャンパス 薬学部
 時 間／10:00~12:00 薬用植物園
 観察会
 13:00~16:00 講演会
 演 題／「くまもとの身近な薬草」
 米田喜美子氏
 「種子島においてよ～薬用植物を観に～」
 飯田修氏
 同時開催(ポスター報告)
 「ベトナムでの薬用植物調査」
 南基泰氏

10月7日(日)
 場 所／南阿蘇ビジターセンター周辺
 時 間／8:30~15:30 阿蘇の薬用植物をたずねて
 講 師／吉田尚利、香月茂樹、飯田修、南基泰、杉村康司、渡辺高志、佐藤千芳、瀬井純雄、米田喜美子、八十島由利子(6日のみ)、矢原正治
 参加料／無料 ※漢方薬生薬認定薬剤師
 研修シール 6日1点+2点、7日3点を準備します
 事前申込／9月28日(金)までにメール

または往復ハガキにて、下記内容を記載の上、お申し込みください。

- ①氏名 ②住所 ③電話番号
- ④メールアドレス ⑤参加日
- ⑥研修シールの必要の有無

【申込・問い合わせ】
 〒862-0973 熊本市中央区大江本町5-1
 熊本大学薬学部薬用資源エコフロンティアセンター(薬用植物園)矢原
 Tel.096-371-4381
 E-mail:yaharas1@gpo.kumamoto-u.ac.jp
 URL:http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/yakusoen/garden.html

Inf 平成24年度「公開講座」「授業開放」受講生募集中です

平成24年度「公開講座」および後学期開講の「授業開放」受講生を募集中です。詳細は下記ホームページよりご確認ください。

【公開講座】

右表参照。詳しくはホームページへ。

【授業開放】

日 時／10月より順次開講

場 所／本学キャンパス内

対象者／高等学校卒業程度の学力を有する方

事前申込／8月27日(月)(必着)にて事前
下記までお申し込みください。

【申込・問い合わせ】

マーケティング推進部地域連携ユニット

公開講座・授業開放担当

Tel. 096-342-3121 E-mail: manabou@jimu.kumamoto-u.ac.jp URL: http://www.cps.kumamoto-u.ac.jp/syogaigakushu/top/

「公開講座」一覧	代表教員	開講日
新聞の読み方講座 「言葉に強くなる」	越地 真一郎	9月1日(土)から6日間
自尊感情を高めるピアカウンセリング入門	前田 ひとみ	8月22日(水)・23日(木)
「食育」講座	川野 美智代	8月21日(火)・22日(水)
看護診断セミナー2012 —NANDA、NOC、NICのリンケージ—	森田 敏子	9月29日(土)・30日(日)
看護職の人材育成セミナー2012 —インストラクショナルデザインを活かす研修企画力を磨く!—	森田 敏子	10月27日(土)・28日(日)
看護研究セミナー—統計入門とSPSSの基礎—	森田 敏子	11月10日(土)
リーダーシップ・トレーニング—東京会場—	吉田 道雄	8月21日(火)・22日(水) 11月22日(木)
教育デザイン・ワークショップ—東京—	鈴木 克明	9月8日(土)・11月10日(土)
教育デザイン・ワークショップ—大阪—	鈴木 克明	9月30日(日)・11月11日(日)



熊本大学基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます

No.18(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

卒業生の皆さま、在学生の保護者の皆さま、法人・団体などの皆さま、本学の退職者および教職員の皆さまからご寄附をいただき、平成24年5月31日現在、その寄附総額は約5億1160万円となっております。皆さまのご協力に厚く御礼申し上げます。

今号では、平成24年3月1日から平成24年5月31日までの間に入金を確認させていただきました個人98名、33法人・団体などの寄附者すべての皆さまへ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。公開を希望されない寄附者につきましては、掲載しておりません。

また、万一お名前がもれている場合は、誠に恐縮ではございますが、基金事務局(電話:096-342-2029)までご連絡ください。皆さまのさらなるご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

1. お名前・寄附金額の掲載を希望された寄附者

(寄附金額別、五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※()内の数字は、累計寄附金額(万円)です。

【360万円】	甲斐原 守夫(720)			
【100万円】	高宮城 實明	医療法人出田会(200)		
【85万円】	井上 高宏(100)			
【50万円】	株式会社坂井幸吉商店			
【10万円】	医療法人永田内科医院	医療法人社団永芳会永芳医院		
【5万円】	久木山 厚子	有限会社水輝管工	島田 廉夫(105)	
【5万円未満】	浅山 滉(5)	医療法人まつもと眼科	迫 健市	
	廣瀬 邦利	医療法人山田クリニック	岡崎 美知治	
	村上 健太郎(5)	衛藤 光明	衛藤 延江	

2. お名前のみ掲載を希望された寄附者

(五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※[]内の数字は、累計寄附回数(回目)です。

荒木 幹生[2]	伊方 敏勝[2]	池原 弘[2]	石崎 昂之	出盛 允啓	岩越 一	上田 京二[4]
上塚 高弘[3]	江見 高章[4]	大島 隆志	大杉 三郎[2]	大坪 哲也[2]	角光 宗治[2]	片淵 秀隆[2]
桂 忍	木村 晴世[2]	草野 龍二[6]	工藤 真励奈	倉原 邦彦[2]	合志 秀一	後藤 辰雄
佐伯 千恵子[3]	佐藤 八郎[2]	篠原 耕一	城 昭典	瀬戸 致行[3]	武本 重毅[3]	寺本 仁郎[3]
富安 真二郎[3]	中尾 博之	永田 達也[5]	中村 功[3]	西田 守	野村 耕一[3]	畑中 敏彦
服部 新三郎[5]	馬場 秀夫[4]	藤崎 順子[5]	堀野 敬	前田 定男	松崎 武寿[2]	三嶋 功
村端 秀映	森田 哉耶花					
赤帽アイ運送	医療法人あすなる会	株式会社フジコーガク	株式会社九州神陵文庫			
株式会社東京ブッククラブ金龍堂	株式会社南工務店	株式会社本山設備	熊本県害虫消毒協同組合			
合資会社サンクック	社会福祉法人熊本県コロニー協会	正晃株式会社	プランニングボックス			
ホームページ印刷株式会社	有限会社高倉智将産業	有限会社マルイ商会	有限会社インテリアシンコー			
有限会社瀬戸口孵化場	有限会社ソフテム	有限会社田迎電気設備	ロイヤル・メッド株式会社			

3. お名前・寄附金額の掲載を希望されない寄附者

個人42名、6法人・団体等

熊本大学オープンキャンパス

WELCOME TO KUMADAI

この街で、学ぼう。

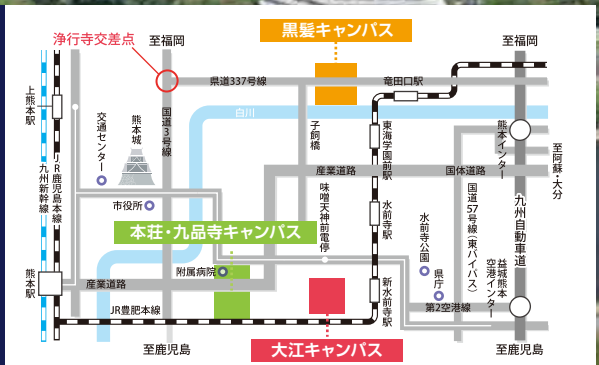
2012年8月8日 水

■ 本荘・九品寺キャンパス …… 医学部 (医学科・保健学科)
■ 大江キャンパス …… 薬学部

2012年8月10日 金

■ 黒髪キャンパス …… 文学部・教育学部・法学部・理学部・工学部
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

当日自由
参加OK!



国立大学法人
熊本大学

熊本大学学生支援部入試ユニット
TEL.096-342-2146 FAX.096-345-1954
E-mail nyushi@jimu.kumamoto-u.ac.jp